鷹取商店街周辺（神戸市長田区）写真提供：神戸市

参加無料

事前申込不要
直接会場へお越しください

第4回歴史文化講座

阪神・淡路大震災以降の文化財保全

―守る・つなぐ・活かすひとびと―

2025 2.2 SUN 13:00～15:00（12:30開場）

武庫川女子大学文学2号館 L2-53教室

報　告　**河野 未央**
（武庫川女子大学文学部歴史文化学科准教授）

ゲストスピーカー　**立岡 宏美**
（吹田市教育委員会）

【立岡宏美（たちおかひろみ）プロフィール】平成23年（2011年）、吹田市役所に入庁。文化財保護課、シティプロモーション推進室等を経て、現在は文化財保護課にて主に、市が管理を行う文化財建造物の保存・活用に関わる業務に従事している。

【論文等】
- 「中西家の古文書　～元禄16年東村「名寄帳」について～」（『吹田市立博物館だより』第49号、2012）
- 「嘉永期における凶荒と上月組の村々：元三日月藩上月組大庄屋・大谷家文書から見えること」（神戸史学会編『歴史と神戸』52巻3号（通号298号）、2013）
- 「文化財通信～都呂須地車太鼓について～」（『吹田市立博物館だより』第53号、2013）

1995年1月17日に発生した阪神・淡路大震災では、指定文化財のみならず多くの民間所在資料が被害を受けました。これを受け、未指定の民間所在資料を救出・保全するボランティア活動が阪神間で展開します。その後日本列島で繰り返し発生する大規模自然災害に対し、各地でも同様に文化財保全をはかるボランティア活動が行われ、全国的なネットワークが形成されるなど、活動の輪は広がりました。

活動には、日本史研究者や行政の文化財担当者などの専門家だけでなく、地域住民や日本史学等を学ぶ学生・院生も参加しており、その後地域の文化財保全に仕事・ボランティアとして関わる人材が数多く輩出されています。

本講座では、阪神・淡路大震災以降展開した文化財保全の活動を紹介し、その流れを振り返るとともに、災害などの非常時だけでなく、日常時も含めた文化財保全の「今後」をも見通し、考える機会とします。

2024年4月に、武庫川女子大学文学部に「歴史文化学科」が誕生しました。学科新設を記念して一昨年よりスタートした歴史文化講座は、今回で4回目となります。ぜひお誘いあわせのうえご参加ください。

武庫川女子大学 Mukogawa Women's University 文学部 歴史文化学科
〒663-8558 兵庫県西宮市池開町6-46（中央キャンパス）
歴史文化学科ホームページ　https://hc.mukogawa-u.ac.jp/
【お問合せ先】hc1@mukogawa-u.ac.jp

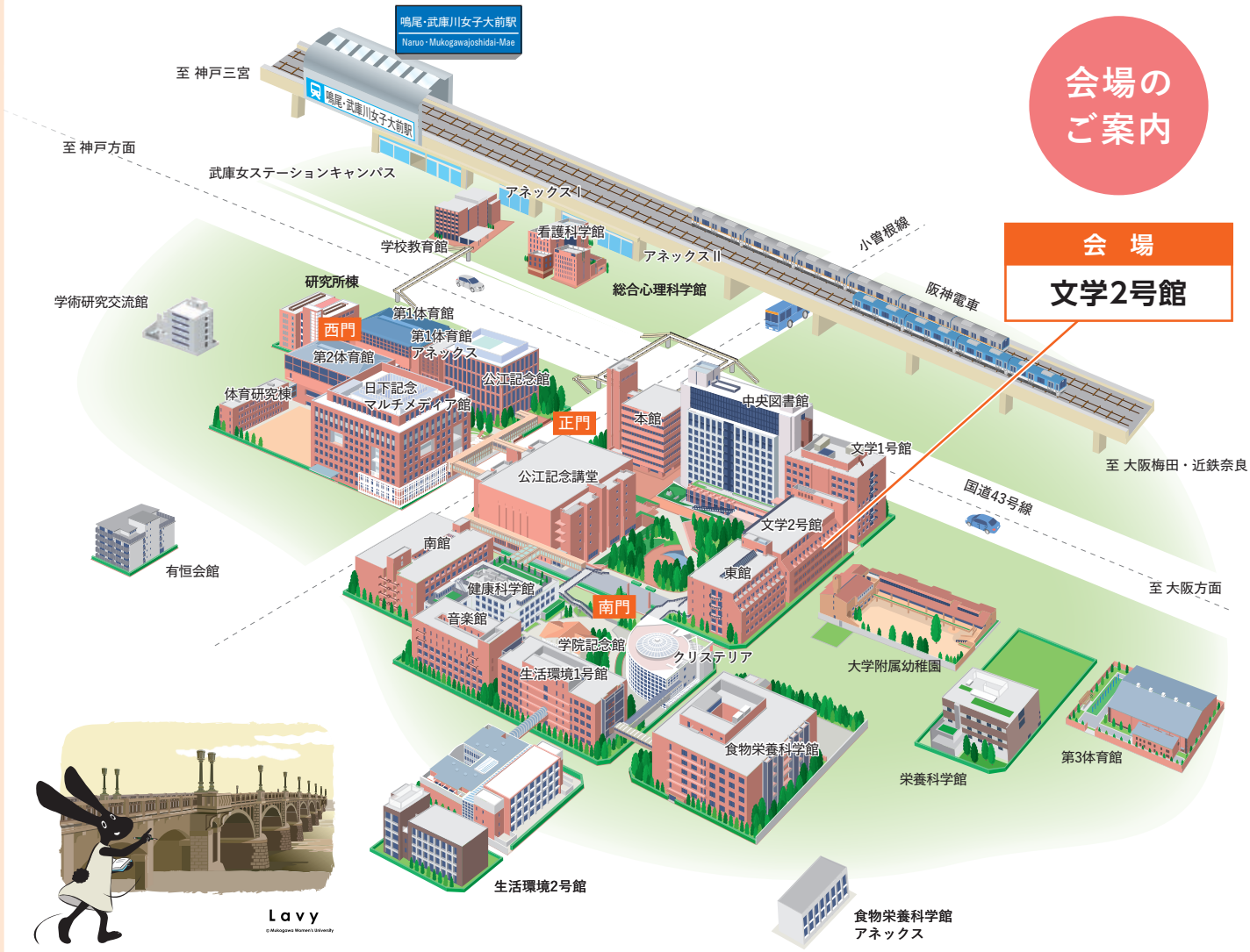
第4回歴史文化講座

阪神・淡路大震災以降の文化財保全

―守る・つなぐ・活かすひとびと―

2025 2.2 SUN 13:00～15:00（12:30開場）

武庫川女子大学文学2号館 L2-53教室



公共交通機関をご利用の場合

阪神本線「鳴尾・武庫川女子大前駅」下車、南東へ徒歩約8分

※駐車場はありませんので公共交通機関をご利用ください。

神戸方面から	阪神電車を利用	神戸三宮	直通特急 または 快速急行 15分	西宮	普通 7分	鳴尾・武庫川女子大前	徒歩 約7分	中央キャンパス		
大阪方面から	阪神電車を利用	大阪梅田	直通特急 8分	尼崎	普通 7分	鳴尾・武庫川女子大前	徒歩 約7分			
奈良・難波方面から	近鉄・阪神電車を利用	近鉄奈良	快速急行 43分	大阪難波	快速急行 21分	尼崎	普通 7分	鳴尾・武庫川女子大前	徒歩 約7分	